

2019年12月16日

品質管理基準切り換えのご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

すでにご承知のことと存じますが、市場調査業界の国際的な品質管理基準である ISO 20252 が、2019年10月21日に『JIS Y 20252 市場・世論・社会調査及びインサイト・データ分析』として国家規格（JIS）化されました。

JIS Y 20252 につきましては、正会員社に『規格解釈のガイドライン』各1部を贈呈させていただきました。

弊協会では、これを機に正会員社が参照し、適用する場合に遵守すべき品質管理基準を旧 JMRQS（マーケティング・リサーチ実施のための品質管理基準：2001年発行）から JIS Y 20252 に、2020年1月1日をもって切り換えることにいたしました。具体的には、今後の入会時の誓約書に、参照すべき品質管理基準として「JIS Y 20252」を明記することといたします。

貴社におかれましても、JIS Y 20252 を有効に活用し、我が国の市場調査サービス産業のよりいっそうの地位向上に貢献いただきますよう、よろしく願いいたします。

敬具

一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会

会長 内田 俊一

[解説資料] JIS Y 20252 の特徴 (従来の ISO 20252 からの変更点)

— 詳細につきましては、今後の説明会・研修会等にてご案内して参ります —

1. アクセスパネル管理とデジタルデータ分析が追加されました

- ・ アクセスパネル管理 (附属書 A.5) は、国際規格であった旧 ISO 26362 の要求事項を再編・更新したものです (ISO 26362 は廃止)。インターネット調査の実査を中心に、いわゆる調査モニターを提供するサービス事業者が実施すべき施策を規定しています。

内容的には、ESOMAR の「オンライン調査バイヤーを支援するための 28 の質問」などにより、かねて世界の市場調査業界が実証してきた成果が盛り込まれています。

- ・ 従来、日本では旧 ISO 26362 の認証スキームが確立されていませんでした。今回、ようやくアクセセルパネル事業を手掛ける会員社に認証の道が開かれたこととなります。
- ・ デジタルデータ分析 (附属書 D) は、国際規格 ISO 19731 の要求事項を引用したものになっています (ISO 19731 自体は存続)。ISO 19731 も日本では認証ができませんでしたが、今後は可能になりました。拡大を続ける当該市場への参入の一助となることが期待されています。

2. 総論と各論が分けられ、認証区分が明確化されました

- ・ JIS Y 20252 は、総論となる第 4 章「市場・世論・社会調査の中核的要求事項」と、6 つの附属書 (A~F) による各論で構成されています。各会員社の実情に応じて見るべき要求事項が明確になり、わかりやすくなったものと思われま。

日本における認証区分と附属書要求事項の対応については、『規格解釈のガイドライン』P4~P6 の付表 1~4 を参照してください。

3. 認証取得にあたっては「適用宣言書」が求められることになりました

- ・ JIS Y 20252 の認証取得を検討される会員社には、社内外に遵守を約束する適用範囲を明確化することが求められることになりました。各会員社の得意領域に即した「適用宣言」を行うことで、自社の強みをより明解にアピールできるようになります。

4. その他、詳細は JMRA 事務局宛てにお問い合わせください。

※) JMRA は、JIS Y 20252 の普及を推進します

☆ JIS Y 20252 を品質管理基準として採用します (2020 年 1 月 1 日~)

☆ JIS 認証取得を推奨します

(認証取得希望社を、JMRA・JIS 認証支援センターが応援します)

☆ JIS Y 20252 の理解促進を図ります

(順次、説明会・研修会等を開催していきますので、ご参加ください)